

学校教育目標	「みんなが かがやく みなみの子」 ○学ぶ楽しさを味わい、思いを豊かに表現する力を育てます。(知) ○礼儀や規律を守り、自分や相手を大切にできる態度を育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、心身ともに健康に生きる力を育てます。(体) ○社会の一員として、自分ができるところを考え、実践する力を育てます。(公) ○様々な人とのコミュニケーションを通して、互いを認め合い、ともに生きる力を育てます。(開)				
	創立 65 周年	学校長 藤田 優	副校長 弘部 奈実	2 学期制	一般学級: 20 個別支援学級: 7
学校概要	児童生徒数: 705 人 主な関係校: 南瀬谷中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働して課題を解決する力 言語能力 自分づくりに関する力	南瀬谷中 南瀬谷小学校 南瀬谷中学校	○自他の良さがわかり、ともに学び合う子ども ○主体的に物事に取り組める子ども ・「目指す子ども像」をテーマとした、小中合同研究授業、協議会の実施(年2回) ・地域(保護者)の教育力を活かした、小中協働による「地域交流学習会」の実施 ・小中一貫カリキュラム作成を視野に入れた、目指す資質能力の明確化と具現化

中期取組目標	○子どもたち一人ひとりの思いを大切に、まちとともに歩む学校をつくります。 ・体験活動を通して、多くの人と関わり、豊かな学び合いができるようにします。 ・楽しく学べる授業展開を工夫し、進んで表現しようとする意欲を高め、学力向上を図ります。 ・子どもたち一人ひとりが活躍する場を設け、楽しく学校生活を送れるようにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きて働く知	①誰もが安心して豊かに学べる授業づくりを目指す。学年研で研究する中で、課題を自分で選んだり決めたりするなどの、自己選択・自己決定を重視する。学力層CD層の多い実態を正面から見据え、「分かる」「できそうだ」を大事にした、個々人の学力の「伸び」に着目した授業展開を積み重ねていく。②特別支援教育の視点から、児童が何に困っているか、教師の見立てる力を育成し、子どものお困り感に寄り添った実践を学校全体に広げていく
担当 授業力向上委員会	
徳 豊かな心	①たてわり活動を充実させ交流を深める。5年目に入り、本校の特色ある活動として、それぞれの学年で目指すべき目標に近付けるスキルを定着させていく。高学年のロールモデルとしての活躍が目覚ましいので、丁寧に継続していく。 ②誰もが自分が受け入れられていると実感できる。共感的な人間関係を、授業を含めた学校生活全般で醸成す
担当 たてわり委員会	
体 健やかな体	①児童会活動を中心にあいさつ運動に取組み、あいさつを返す習慣をさらに定着させる。登校班から自主登校に切り替わることもあり、あいさつできる児童の育成を重視する。 ②長縄フェスティバルや体力アップなど、児童主体の取組を計画的に実施して体力の向上に努める。
担当	
公 地域連携 学校運営協議会	①南瀬谷小ボランティアによる活動が2年目を迎える。地域にも発信する中で、保護者、地域の方が当たり前のように来校し、学習生活の支援をすることができるように取り組んでいく。 ②小中合同学校運営協議会2年目に入る。拠点防災訓練に児童が参加できるよう、地域連携を深めていく。
担当	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会では、事案の共有だけではなく、対応の在り方について委員会として検討し実践する。人間関係に難しさを抱えている児童への配慮を重視する。 ②事案対応に迅速かつ組織的な対応を徹底する。聞き取り、連絡分担などをスムーズに行う。
担当	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①数年先を意識するような校内組織配置を行う。メンターによる教育実習生指導を行う。学年研の充実を図り、教材研究を共同で行う。教科担任制を年間通して行い、教材研究の充実を図る。 ②迅速な検討による、次年度をまたないPDCAシステムを構築し、より働きやすい職場づくりを進めていく。
担当	
a12	b7
担当	
a13	b8
担当	
a14	b9
担当	
a15	b10
担当	